

農林水産大臣賞（被害防止部門（個人））

集落環境点検やニホンザルのテレメトリー調査をはじめ、捕獲檻や追払い資材の製作など多岐にわたり活躍。

また、滋賀県獣害対策アドバイザーとして、湖東地域を中心に、獣害対策の推進に貢献。

いちえん けんいち

一円 一 憲

主な取組

たがちょう
滋賀県多賀町

- ニホンザルの生息域調査に尽力し、特に初期においては調査方法の確立に貢献。調査で使用する機器や電気柵の構造等にも精通しており、多方面でその力を発揮。
- 集落における侵入防止柵の設置後、柵の管理について、地域住民に声をかけ、柵の管理を行う「電気柵保全会」の設立を主導し、侵入防止柵の適正な維持管理の徹底を組織的に進め、2か月に1回の保全点検を計画的に行える体制づくりに尽力。
- サル捕獲用木製檻の設計・製作を行うとともに、多くの人が自作できるよう、組み立て図や使用方法のマニュアルなども併せて作成。市販の鉄製檻に比べ小型で取り扱いやすく設置が容易で、効果も大きかったことから、町内だけでなく近隣市町へも導入が進展。
- 自身が現場を踏まえて蓄積した獣害対策関係技術について、これまでの記録をマニュアル化し、技術の伝承に尽力。

【被害金額（多賀町）】

約5,100万円（平成21年度（活動開始前））→約70万円（令和3年度）